全国公立学校教頭会通信　NO. ２０

きずな

発 行　令和７年 12 月吉日
全国公立学校教頭会研究部
電話：　03-3436-4868
Mail：　zenkokyo@kyotokai.jp
HP：　https://www.kyotokai.jp

九州ブロック研究大会大分大会報告

研究部　奥野　英二

1　大会名称　　第 65 回九州地区公立学校教頭会研究大会　大分大会
（第 58 回大分県公立学校教頭会研究大会　大分大会）

2　開催時期　　令和７年８月７日（木）、８日（金）

3　開催場所　　大分県　大分市

（１）分 科 会　①1A 分科会：Ｊ:COM ホルトホール大分　②1B 分科会：コンパルホール　③2 分科会：ソレイユ　④3 分科会：トキハ会館　⑤4 分科会：大分第 2 ソフィアプラザビル　⑥5A 分科会：アイネス　⑦5B 分科会：ホテル日航大分オアシスタワー　（７会場）

（２）全 体 会　iichiko 総合文化センター

4　日程

（１）１ 日 目　分科会①　　10:00～12:00
分科会②　　13:00～16:40

（２）２ 日 目　開会行事　　9:30～10:00
記念講演　　10:20～11:50
閉会行事　　12:00～12:20

5　大会の概要

（１）大会主題　「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
～キーワード「自立・協働・創造」～

（２）主　　催　九州地区公立学校教頭会　大分県公立学校教頭会

（３）後　　援　大分県教育委員会　大分県市町村教育長協議会　大分市教育委員会
大分県小学校校長会　大分県中学校校長会　福岡県教育委員会
佐賀県教育委員会　長崎県教育委員会　熊本県教育委員会
宮崎県教育委員会　鹿児島県教育委員会　沖縄県教育委員会
全国公立学校教頭会　公益財団法人日本教育公務員弘済会大分支部
大分県ＰＴＡ連合会　一般財団法人大分県教育会館　（順不同）

（４）分 科 会　①教育課程に関する課題　②子どもの発達に関する課題　③教育環境整備に関する課題　④組織・運営に関する課題　⑤教職員の専門性に関する課題

（５）開会行事　①開会のことば　②国歌斉唱　③あいさつ（大会実行委員長）
④祝辞（大分県教育委員会教育次長、大分市教育長、全国公立学校教頭会会長）
⑤来賓紹介　⑥感謝状贈呈　⑦ 閉会のことば

（６）記念講演　演題　「学校内外の人的資源の生かし方とサーバントの思想」
～ 行為としての愛と欲求・必要の見極め ～
講師　大分大学大学院教育学研究科　　教授　清國　祐二　氏

（７）閉会行事　①開会の言葉 ②次期開催県会長あいさつ ③大会宣言決議 ④万歳三唱 ⑤閉会のことば

6　大会に参加しての感想

本大会は、九州地区公立学校教頭会、大分県公立学校教頭会の主催により、大分市にて、九州各地から約 1000 名の校長・副校長が参集し、開催された。

分科会の様子

１日目は、各分科会（７会場）において、各３つの提言がなされ、それぞれの提言について、発表、協議、講評の形式で進められた。協議では、提言についての質疑応答の後、協議の柱をもとに、グループ協議と協議内容の発表、全体協議の順に進められた。グループ協議では、協議の柱を基に、各県や各学校の実情についての情報交換や日々の業務、実践について、３Ｃの視点に基づき熱心な協議が行われた。３つ目の提言における協議では、ワールドカフェ方式を取り入れ、グループを離れ、会場全体の参加者と自由に意見交換を行い、よ　　り多くの参加者と交流を広げる工夫も見られた。

２日目は、記念講演として、大分大学大学院教育学研究科　教授　清國祐二氏が「学校内外の人的資源の生かし方とサーバントの思想」～行為としての愛と欲求・必要の見極め～ と題して講演された。

技術革新に伴い、社会の変化が格段に速くなっている中で、個人が技術を使いこなし「自立」していくことが重要であるが、学校は、人間が失ってはいけない「人間らしさ」を育て、発信する砦となって欲しい。ピラミッド型の組織構造の限界を超えるためには、逆三角形の組織構造へとパラダイムシフトが必要であり、その組織構造におけるリーダーシップとは、部下の働きやすい環境を下から支え（サーバント）、影響を与える技能である。また、サーバントは、決して相手の欲求に言いなりになることではなく、「愛情」ではなく「行為」として相手のニーズに応えていくことが大切である。など、これからの社会におけるリーダーの在り方について、大変示唆に富んだ講演内容であった。

本大会を通して、大会主題のもと、参加者の熱心な協議や交流が図られ、九州地区の教育を担う副校長・教頭が仲間意識を高めつつ、急速な社会の変化の中でどのように児童・生徒の教育に当たっていくべきか見識を深めることができた。運営担当として大会の成功にご尽力いただいた大分県の副校長・教頭、実行委員、その他多くの関係者の皆様に敬意を表するところである。